

「骨軟部の腫瘍性及び非腫瘍性病変におけるデータベース作成」について

1. 研究の対象

1990年1月～2020年10月に当院で骨・関節、軟部組織（皮膚を含む）の手術、生検を受けられた方

2. 研究目的・方法

【研究目的】

現在、骨軟部腫瘍についての研究が進み、新たな知見によって診断や分類が大きく変わってきています。一方では、未だ特定の分類ができず、診断困難で治療方針の確定が困難な骨軟部腫瘍も存在します。また、腫瘍以外の病変についてはその機序を含め、まだ不明なことが多くあります。私たちは、当院に保存されている骨軟部領域の病理検査標本を用いて、当時の診断や予後等を含めた臨床情報の確認とともに、最新の組織診断基準に基づく再分類や、近年発展追加されてきた免疫組織化学的検討方法・遺伝子検索方法を加えた腫瘍性病変の再検討、非腫瘍性病変の理解のための基本的なデータベースを作成しようと考えています。

【研究方法】

診断・治療のために採取された組織を研究用に使用させていただきます。一部の腫瘍性病変の症例では腫瘍細胞における免疫組織化学検索や、病因遺伝子の検索を追加して行います。正常組織における染色体配列の解析、いわゆるゲノム解析は行いません。また、病歴や病理学的所見についての情報もデータベースに登録します。

研究に使用する試料・情報・データは研究責任者が、研究終了後一定の保存期間経過後廃棄します。

将来、検体を医学研究に用いる場合には、改めて研究計画書を提出し、倫理審査委員会の審査を受け、学校長の承認を受けます。

【研究期間】

本研究は学校長承認後から令和7年3月にかけて行います。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、予後、病理検体所見 等

試料：手術で摘出した組織 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

資料 3

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方（未成年の場合は親権者又は未成年後見人）にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

【連絡先】

研究責任者・連絡担当者：松永 絢乃

〒359-8513 所沢市並木 3-2

防衛医科大学校 臨床検査医学講座

Tel: 04-2995-1505 Fax: 04-2996-5192